

情報化施工推進戦略(素案)に関するご意見(第12回情報化施工推進会議でのご意見)と対応案について

参考資料1

番号	3/14 版 の頁	2/5 版 の頁	該当箇所	ご意見や修正案等	修正 の 有無	対応案
1	36			目指すべき姿は、今後5年間に実現できるものではなく、もう少し先を見たものと思う。また、設計、施工、維持管理で受け渡されるデータは、3次元データだけでなく品質情報等も含んでいると理解しているので、できるところから実施していくことも必要と思う。	有	第4章 情報化施工に関連するデータの利活用に関する重点目標に反映させて、「施工中に出来形や品質などの多くの情報を連続的に取得することが可能である」ことを記載しました。
2	11			情報化施工により取得データを電子的に収集することで、施工過程のトレース、出来高を確認できる他、災害復旧時の分析や対応の迅速化等、維持管理まで含めると発注者側のコスト低減も大きいと思う。教育も含めて、工事を発注する発注者側の視点をもう少し強調していただきたい。	有	第2章 (2)情報化施工推進の導入の意義に反映しました。 ア) 監督・検査の強化と効率化 イ) 迅速かつ柔軟な技術者判断の支援 ウ) 施工誤差を考慮した設計手法の見直し エ) 効率的・効果的な管理の実現 として記載しました。
3				次期戦略は、施工を超えた戦略となっている。建設事業全体を対象にしたイノベーションという表現で発信した方が良い。	有	対象を建設施工から建設事業に修正しました。
4	10 36 ~40			次期戦略には自然災害に対応できる強固な構造物をつくるという視点も必要である。また、重点目標にプライオリティをつけるべきと思う。	有	第2章 社会資本の老朽化と維持管理費の増加に反映し、新設の工事においてもより良質・長寿命な社会資本整備が求められていることを記載しました。 第4章 推進戦略期間における重点目標に反映し、重点目標の順番を修正しました。本戦略期間においては、前戦略からの継続目標として①、②、⑤を→③、④、⑤に修正、建設事業のイノベーションに必要な不可欠な③、④を②、①に修正しました。
5	46			監督検査の見直し等は、前戦略で進まなかった部分であるため、特に重点目標③、④が達成できるように、実施内容を検討して頂きたい。	有	第5章 ウ 主に一般化推進段階の技術に対する検討事項に反映し、情報化施工に対応した技術基準類(設計・施工)の整備に記載しました。
6	37			前戦略では、情報化施工として主にTS出来形管理やMC/MG技術等と理解していたが、次期戦略の話を伺うと、情報化施工技術の定義をどのような枠組みで捉えるのか疑問である。また、実際に、前戦略で進められてきた技術とは違う技術も多数現場に導入されている。	有	第4章 ② 新たに普及を推進する技術・工種の拡大に関する重点目標に反映し、情報化施工技術およびその関連技術の動向を把握し、新たに研究・開発された技術やこれまで活用されていない技術のうち有望な技術について、将来の普及推進を念頭にその適用性および適用効果などを検証の上、有用な技術を活用することで、新たに普及を推進する技術・工種の拡大を目指すことを記載しました。

番号	3/14版の頁	2/5版の頁	該当箇所	ご意見や修正案等	修正の有無	対応案
7	45			これまでは一般化推進技術等の技術を特定して議論を進めてきたが、次期戦略では優れた技術を積極的に取り入れて推進していくという視点の重点目標も設定されたと認識している。是非、優れた民間技術が取り上げられて普及していくスキームを構築して頂きたい。	有	第5章 ア 主に確認・検証段階の技術に反映し、新規技術の研究開発、現場の適用条件と効果の検証を行う試験施工を実施することを記載しました。
8	10			維持更新に関する問題など切迫感を持って取り組むべき姿勢も必要と思う。	無	第2章 社会資本の老朽化と維持管理費の増加に新設の工事においてもより良質・長寿命な社会資本整備が求められていることが記載されております。
9	39,47			地方への普及展開に向けては、コストメリット以外の項目も整理してパッケージとして支援していくことが必要と思う。	有	第4章 ④ 地方公共団体への展開に関する重点目標 第5章 ⑤ 地方公共団体への推進支援 適用事例や情報化施工の効果・留意点の周知、さらに、情報化施工に適した工事条件、仕様書の記載例、監督・検査手法のアドバイスをを行うことを記載しました。
10	参考資料			NETIS登録技術等で情報化施工に関わる技術の洗い出しや今後のニーズに対してどのような技術を普及推進していくかを整理していくべきでないか。また、情報化施工技術の定義に入るものについては、インセンティブを与えることも必要ではないか。	有	参考資料 情報通信技術を利用した技術について、平成25年1月7日に関連業団体を通じてアンケート調査を行った結果とNETIS登録技術から抽出した結果を作成した。
11	参考資料			工事の品質向上や効率化を目指していくためには情報化施工技術の対象は広いスタンスで構えていた方が良いと思う。様々な技術を概観して、技術の動向を把握・整理してはどうか。	有	参考資料 情報通信技術を利用した技術について、平成25年1月7日に関連業団体を通じてアンケート調査を行った結果とNETIS登録技術から抽出した結果を作成した。
12	4,16			公共施設の維持管理を考えると、施工時の材料情報や施工品質、出来形等を含めた情報を維持管理に渡していくことが重要で、この情報の流れを含めて情報化施工と認識している。次期戦略においては、前戦略の継続に加えて、設計の要求に対してどのような構造物を構築したのかという一連の情報を維持管理に渡していくという理念があると会議の幅が広がる。	無	第1章 (2) 情報化施工推進の目的 第2章 (2) 情報化施工のメリット ③ 工事発注者のメリット などで、維持管理・更新を的確に行うことについて記載しております。また、データの引き渡しについて、図1.2情報化施工の推進の目的に盛り込んでおります。
13	19			最近のCADでは、施工で得られた情報を維持管理情報として扱う6D(施工で得られた情報をメンテナンス情報として活用)の概念も出てきている。	有	第3章 国内外の動向で注目に、最近では、3次元モデルに時間とコストを加えた5Dに加えて、施工で得られた情報を維持管理情報として扱う6D(施工で得られた情報をメンテナンス情報として活用)の概念も出てきていることを記載しました。

番号	3/14 版 の頁	2/5 版 の頁	該当箇所	ご意見や修正案等	修正 の 有無	対応案
14	4			素案の概要の中では、情報化施工という言葉が4回出てくる。一部省略しても良いと思う。	有	第1章 (2) 情報化施工推進の目的の文章を修正しました。
15	37			重点目標の解説でGLONASSを利用したネットワークRTKとあるが、必ずしもGLONASS併用が良いわけではない。記載内容を検討頂きたい。	有	第4章 ② 新たに普及を推進する技術・工種の拡大に関する重点目標の文章を修正しました。 例えば、電子基準点を利用したネットワーク型RTK法による衛星測位技術は、今後GPS衛星以外の測位衛星の利用により、測位可能な時間と場所の増大と安定性の向上が期待されている。ネットワーク型RTK法では、施工現場毎に設置している基準局が不要となるなどのメリットがあるため、情報化施工での活用の拡大が期待されている技術である。
16	4.5			次期戦略では、建設産業をイノベーションしようとしているため、現政権の関心を得られるテーマとなるくらいの書き込みをしてほしい。目指すべき姿の図には、受注者と発注者の2者が位置づけられている、この他、技術基準や入札・契約制度を管理している部署を位置づけ、各プレーヤの責務として図に記載する必要があると思う。	有	建設事業の課題を解決する持続的イノベーションの実現を情報化施工推進の目的として、図1.2に示しております。また、図1.3にて分担を示しました。
17	4			目指す姿の中に、重機メーカー、測量機器メーカー、専門業者等の位置づけも追加して頂きたい。	有	目指す姿の図に施工者側、発注者側を追記し、注釈を記載しました。